

# かんさい生活情報ネットワークについて

平成26年3月6日

かんさい生活情報ネットワーク協議会 代表幹事  
但野克典

# 本日の要点

- 東日本大震災の教訓
- 大災害に立ち向かうための課題
- かんさい生活情報ネットワークの試み

# 東日本大震災の教訓

- ▼電話・FAXつながらず、HP見られず情報過疎に
  - ▽タテは盤石、ヨコはさっぱり
  - ▽危機管理の前提となる全体状況わからず
- ▼住民に最も近い基礎自治体に、何も情報なし
  - ▽県や国は「情報よこせ、上げる、報告しろ」ばかり
  - ▽ラジオ聞く、テレビ見るほかに、何もやりようなし

# 大災害に立ち向かうための課題

## ▼基礎自治体、地域の事業所の「情報力」強化

▽非常時に、住民が最も頼りにする存在

▽住民の自助、共助を支える地域防災の拠点

## ▼組織や団体の垣根こえたヨコの連携強化

▽さまざまな情報の「共有」と「活用」

▽電気、ガス、水道、燃料、通信、道路、鉄道、

バス、物流、食品、医療、金融などの情報を

一元的に把握し、活用できるシステムが不可欠

# かんさい生活情報ネットワークの試み

- ▼さまざまな情報の「共有」と「活用」を実現
- ▼災害時は、情報の共有が最も難しいとき
  - ▽現場の手間や負担を増やさないことが重要
  - ▽ワード、エクセル、PDF、写真、動画など  
何でもやりとり可能
- ▼普段から生活情報やりとりし、信頼関係構築
  - ▽非常時には、平時にしていることしかできない